

北九州市立大学・地域創生学群の情報が掲載！

北九大学生がつくる 持続可能な社会

やってみたいを
"地創"で始めてみよう

この度は、「地創新聞VOL.3.1」を手にとっていただき、ありがとうございます！

本誌は、北九州市立大学 地域創生学群(地創)の活動の一環として広報実習が発行したものです。地域創生学群には12の実習があり、今年度はそれぞれの実習がどのように地域の方々と関わっているのかを取材しました。今回は、地域の皆さまにも参加していただけるイベントに焦点を当てています。この新聞をきっかけに、地創や地域での取り組みに興味を持っていただければ幸いです。

今年度は、全ての実習を5回に分けて紹介していきます。第1号の表紙は、今年度最初の発行にちなんで、JR鹿児島本線の起点である「門司港駅」を選びました。ホームのどこかにある、起点の証「0哩(ゼロマイル)票」をぜひ探してみてください。今後も北九州市で活躍する学生の活動をお届けしながら、観光スポットも紹介していきます。

今年度も多くの方のご協力のもと、無事に「地創新聞」を発行することができたこと、心よりお礼申し上げます。

広報実習

【地域創生学群とは】

地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材を育成することを理念とし、総合的な人間力を培い、地域社会のさまざまな分野で指導的役割を担える人材の養成を目指しています。

地域社会というリアルな現場は、企業や行政機関のみならず、市民活動や障がいスポーツ、福祉等の分野において、指導的あるいはコーディネーター的役割を担える能力を養うことに重点を置いている学部です。



地創の詳しい解説は
こちらから

もっと地域創生学群を知りたくなりましたか？
ぜひ左右のQRコードを読み込んでみてください！



地創の基本情報は
こちらから

学生が「ビジネス」を！？

「キタキュープロモーション」

キタキュープロモーション (以下、キタプロ)のイベントである「ビジネスプランコンテスト」に取材してきました！キタプロはこのイベントによって1年間の活動の内容が決まるため、今後の方針が決まる非常に重要なイベントです。そこで私たち広報実習はこの一大イベントであるビジネスプランコンテスト (以下、ビジコン)に注目しました。

【キタプロとは？】

「COMPASS小倉」を受け入れ先として、学生自身が起業・事業運営を行いながら、ビジネスに取り組む力を身につけることができる実習です。2025年度は、基盤企画である「キタプロカフェ」と「Otaku Eats」「Re flower」の3つのプロジェクトが活動しています。

学生がビジネスを企画！？

キタプロでは毎年5～6月に行われている「ビジコン」で学生がビジネスの企画を考案し、プレゼンを行います。選ばれた企画は実際のプロジェクトとして半年ほどかけて進めていきます。自分がやってみたいことをビジネスとして始めることができ、先生やCOMPASS小倉の方に起業に関して相談させていただけるため、起業への興味の有無に関わらず、始めやすい環境が整っています。

ビジネスプランコンテスト

ビジコンはCOMPASS小倉にて2度開催されます。第1回は学生が自分で考えてきた企画をプレゼンし、実習生全員で5段階で評価し、点数をつけます。その結果を基にCOMPASS小倉の方、実習リーダー、先生で話し合い第2回での発表者を決めます。第2回では1週間という短い期間で企画内容をブラッシュアップし、再度発表します。今年度は「Otaku Eats」「Re flower」に決まりました。



←実際のビジコンの様子です。どのプレゼンからもどれだけこの企画をやりたいかという熱量が伝わってきました！！！！

●Otaku Eats

このプロジェクトは日本全国のもの、北九州のものを広めていくことを目的としたプロジェクトです。メンバー全員がチームを引っ張っていきけるような活動を行っているそうです。



↓ 第2回ビジコンの発表の様子

●Re flower

このプロジェクトは廃棄予定の花を再利用し、香りをルームフレグランスなどに加工して販売します。お洒落かつ環境にも配慮した活動となっています！



この実習で身に付くこと！

- ・伝える力
- ・マネジメント力
- ・ビジネスについての知識

◆COMPASS小倉の事務局長である福岡さんにキタプロについて聞いてみました！！

Q.キタプロの学生の印象は？

A.キタプロの学生はユニークで自分の意見を持った人が多い印象です。なのでチーム作りが毎年難しいです。ただ、このような中でリーダーをすることは、リーダーの在り方を試すことができると思います。

Q.学生のアイデアで驚くことはあったか？

A.学生ならではの発想なため毎年驚くアイデアがあります。けれど、選ぶ企画は1年間チームを引っ張ってもらわないといけないため、学生の熱意や本気度を重視しています。

各種地創の情報はこちらから



地創の学びを詳しく発信中！



詳しく知りたい方はキタプロのインスタをチェック！！

地創の魅力を高校生に大発信！

＼ 広報実習 ＼

広報実習では、オープンキャンパス(以下、オーキャン)について取り上げます！高校生にとって進路選択に重要な材料集めの1つであり、広報実習の1大イベントであるこの企画。地域創生学群の未来が詰まったオーキャンの裏側を一緒に覗いてみましょう！

【広報実習とは?】

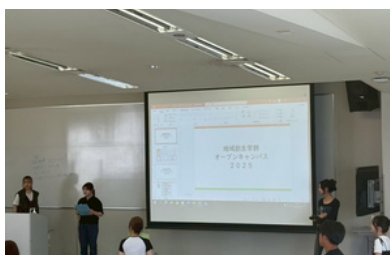
地域創生学群(地創)に在籍する学生ならではの視点から広報戦略を考え、高校生や地域の方々に地創の魅力を伝えるための広報活動を行う実習です。具体的にはInstagramや公式Webサイトの運営、地創の学びの解説本である地創図鑑の発行、オーキャンの企画運営などを行なっています。また、この新聞を担当しているのも私たち広報実習です。

授業をするのは1年生!?

オーキャンで高校生に模擬授業をするのは、実習に入ったばかりの1年生!! 2年生は去年表舞台に立った学びを活かして裏方に回り、高校生の目線に近い1年生だからこそその視点から地創の良さを表現できるように役割分担しています。高校生に楽しんでもらう、また、特殊な学科であっても理解してもらうことを目標に、本番ギリギリまで修正していました。

オーキャンを学生で運営している

一般的に、オーキャンの模擬授業は、各学部の先生が担当します。そんな中で、地創だけ学生自身で運営するのは「教員は教えている側であり、学群の良さは学んでいる学生でしか伝えることができない」と地域創生学群の教員が考えているため任せていただいています。学生の体験談などここでしか聞けない授業になっていました。



←本番までのリハーサルの様子。1度スライドができあがっても、司会と合わせると何か違う、と本番ギリギリまで調整しました。皆真剣です。

本番は、両日合わせて300人ほどの学生が来てくれました。沢山の高校生がアンケートにて「授業の体験が楽しかった」と回答しており、好評だったことが分かりました!初めての人と話すのは緊張するので、下の写真のように、間に学生が入ってアドバイスをしたり、話しやすい雰囲気を作ることで、グループワークを進めていました。



↑本番のワークの様子



↑見守りながら助言も

この実習で身に付くこと!

- ・マーケティング力
- ・タスク管理能力
- ・表現力

Q.広報実習と地域の繋がりがって?

A. 他の実習と違い、地域に出て何かアクションを起こしたり、地域の人とのつながりを感じたりすることは少ないですが、オーキャンは学生自身が直接高校生と関われる貴重な機会です。ただ学部のことを知るだけでなく、高校生が自分のなりたい像を明確にする、憧れの人を見つけられることが学生の使命だと思っています。人から人に思いが繋がるこのオープンキャンパスが地域を想像する人材を作り、地域創生につながっていると感じました。

(オーキャン学生リーダーより)

各種地創の情報はこちらから



広報実習の他の活動はこちらから



地創の最新情報を発信中!

運動でつながる子どもの輪

キッズトレーニング実習

キッズトレーニング実習では、学生が企画から運営まで担った子ども向け運動教室に潜入。準備や指導案づくり、安全面への配慮など、当日の笑顔を支えた工夫と想いに触れました。子どもたちと向き合う中で生まれた学生の気づきや成長も取材しました。

【キッズトレーニング実習とは？】

キッズトレーニング実習では、北九州市の子どもたちに向けて、年間20回の運動教室を開催しています。学生は広報や指導を担当し、幼児期に必要な体力や運動能力の向上を目指します。2024年度からは地域の幼稚園にも出張し、現場に合わせた運動メニューを考案。実践を通じて、指導力やマネジメント力を高めています。

小嶺っ子たちに運動機会を！

今回の小嶺マーケットというイベントは、小学生にもっと運動するきっかけを届けたい！という思いからスタート。運動教室を知ってもらうことを目標に、学生が広報や指導を担当しました。北九州市八幡西区小嶺地域で行われる小嶺マーケットでは、子どもたちが楽しく体を動かせる場をつくりながら、学生と子どもたちが学び合う姿がありました。

常に子どもに寄り添って

指導案（活動の流れや安全対策をまとめた計画書）の作成では、子どもたちが安心して楽しく活動できるよう、危険の少ない動きや声かけが工夫されていました。さらに、地域の雰囲気や特性にも合わせて、みんなが笑顔になれるような内容づくりが行われており、安全面への配慮と、まちに寄り添った優しさが詰まった教室です。

当日は地域の親子連れでにぎわい、会場は笑顔と元気な声に包まれていました。運動教室に参加した子どもたちは学生の声かけに楽しそうに応じ、準備や片付けも一緒に行うことで子ども達同士も自然と仲が深まっている様子でした。水分補給の声かけなど、安全面への配慮も丁寧に行われていました。



↑みんなで応援！



↑教室の様子

この実習で身に付くこと！

- ・企画、運営力
- ・指導、対応力
- ・リスクマネジメント力

Q.運動教室で工夫が必要だった場面は？

A. 今回の小嶺マーケットでは、子どもの対象年齢が幼稚園から小学校高学年までと幅広く、発達段階や運動能力に合わせた対応が求められました。

Q.子どもと運動するとき大切なことは？

A. 無理にやらせるのではなく、楽しさや達成感を感じられるような声かけを意識しています。子ども一人ひとりのペースに合わせて、「自分からやりたい」と思える雰囲気づくりを大切にしています。

(キッズトレーニング実習の学生より)



←安心して楽しく全力で運動教室に参加する子どもたちの様子が、生き生きとした表情から伝わってきます！

各種地創の情報はこちらから



地創の学びを詳しく発信中！



キッズトレーニング実習の最新情報！